光明寺だより

第84号
令和元年7月発行
眞言宗　光明寺
宇都宮市野沢町342
TEL　665-0545
FAX　665-5422

智山勤行式（No.15）

御宝号

南無興教大師

【口語訳】

真言宗の中興の祖、興教大師さまに帰依し、感謝することです。

【解　説】

弘法大師が入定されてから約三百年後、高野山が活力を失いつつある時、その状況を憂い、弘法大師の教えを再興するために様々な改革をしたのが、興教大師覚鑁上人（一〇九五～一一四三）です。興教大師の当時は、真言宗において、事相（威儀・行法）の興隆とともに多くの流派が林立し、修法に関して一部で混乱がみられました。こうした実状に悩んだ興教大師は、遍く諸流を学びかつ相承して、真言の法門の「源底」を求め、真言密教の秘奥を究められました。現在でも興教大師は、私たち真言宗智山派の属する新義真言宗の祖として、寺院やお仏壇に崇められています。（光明寺では本堂正面中央、本尊大日如来、右、宗祖弘法大師空海、左、中興の祖興教大師覚鑁と安置しております）

令和五年には弘法大師空海誕生一二五〇年が迎えられます。永い間、真言宗の法灯をつないでいただいた興教大師をはじめとした祖師に感謝せねばなりません。私たちの法灯（いのち）も興教大師のような様々な困難を乗り越えいのちをつないでくれた中興の祖がいるかもしれませんね。

※智山勤行式は、真言宗智山派がお檀家様向けに作ったお経本です。興味のある方はお寺にお声掛けください。

秩父三十四観音霊場めぐり第四回

光明寺四季の諷詠（No.53）

おもいで　十首　　恵華

○四年苗　植えて三年　花咲きぬ
　静櫻は　薬師堂跡

○花のとき　いつしかすぎて　新緑の
　み寺の庭の　しずけさにいる

○それぞれに　たつきあれば　われ一人
　生きるすべし　たのしみのあり

○連休に　み寺まいりの　人多し
　親いたわりて　参道あゆむ

○その昔　Very nice teacherと
　いわれしことを　おもいいだしぬ

○毎日を　あげ膳さげ膳　ありがたし
　三度の食事　合掌ささぐ

○長男と　二人仲よく　墓まいり
　九十五才　幼さな日の友

○しばらくを　み墓まいりの　人みえず
　安否きになる　このごろにして

○亡き夫に　わが名をそえて　宝物
　み寺にささげ　心安らぐ

○光明寺　生まれそだちて　九十五年
　夢にえがきし　み寺となりぬ

平成30年度光明寺護持会収支報告書

2018/04/01 から 2019/03/31

単位　円

科目	収入	支出
繰越金	1,198,708	
会費	4,473,000	
宗派課金		578,680
保険料		576,204
分担金		88,290
特別会計へ		1,000,000
通信印刷費		397,257
諸会費		149,000
教化費		498,906
営繕費		900,254
計	5,671,708	4,188,591

残金1,483,117円は次年度に繰り越します。

左記の通りご報告致します。　令和元年5月31日

護持会会長　藤村　眞琴　㊞
会　計　別井　実　㊞
会　計　藤村　真行　㊞

左記決算書を監査したところ、諸帳簿、決算書証ひょう書類等符合し違算ないことを証します。

令和元年6月15日

会計監査　村田　久男　㊞
　　川久保敏男　㊞

平成30年度光明寺護持会特別会計報告書

単位　円

科目	収入
ＪＡ普通預金	5,024,934
ＪＡ定期預金	10,129,771
一時払い養老生命共済	5,000,000
合計	20,154,705

特別会計総額	20,154,705
西駐車場護寺会負担分	11,500,000
残金	8,654,705

左記の通りご報告致します。　令和元年6月15日

護持会会長　藤村　眞琴　㊞
会　計　別井　実　㊞
会　計　藤村　真行　㊞
会計監査　村田　久男　㊞
会計監査　川久保敏男　㊞

秩父三十四観音 霊場めぐり(4)

第四回秩父巡礼報告。（秩父結願）

去る五月十五日（水）早朝六時出発、曇りの天気予報でしたが、秩父方面の天気は晴れ、暑いくらいでした。四ヶ寺を巡れば秩父は終了、参加者の皆さんも張り切っています。三十一番札所観音院では、入口常備の杖を借りて、長い階段を登りました。全員無事到着、息が切れて、お経の声も途切れがちでしたが、ここが終われば昼食。皆さん段々大きな声になってきました。下山してすぐの観音茶屋にて昼食、うどん、天ぷら、山菜など、盛りだくさんのお膳を

美味しく頂き、更に、参加者の中に、茶道の先生がおられ、わざわざ茶道具を持参して下さり、美味しいお抹茶とお菓子を振舞ってくださいました。思いがけないサプライズに、皆さん大変喜んでおられました。ありがとうございました。予定より早く帰路につくことができ、長瀞、道の駅（花園）にもよる事ができ、皆さん大満足の旅でした。

次回は百観音を目指して、坂東を巡る予定です。秩父は日帰りができましたが、坂東霊場は関東一円に有り、一泊

秩父三十四番札所 水潜寺 秩父結願　令和元年5月15日

二日を四回に分けて行う予定です。
途中からの参加も大歓迎です。お寺までご連絡下さい。

長享二年秩父札所番付　一巻

県指定有形文化財昭和三十四年三月二十日指定

秩父札所めぐりが現在のような順路で行われるようになったのは、江戸時代の初期といわれているが、この「長享二年秩父札所番付」には、それ以前の古い札所の順番が記されている。

これによると、当時、西国三十三ヶ所、坂東三十三ヶ所と共に秩父では、一番の定林寺（現在の札所十七番）から三十三番の水潜寺（現在の札所三十四番）までの札所巡礼が行われていたことがわかる。現在の順番と異なっているのは、秩父大宮郷を起点に順路が定められたからであろう。

後に、現在の札所二番の真福寺が加えられて三十四ヶ所となってから、西国・坂東とあわせて百観音巡礼が行われるようになった。また、江戸からの巡礼者の増加にともなって札所巡礼をしやすいように順路が改められたものであろう。

従って、この「長享二年秩父札所番付」は、秩父において、室町時代の中期頃には既に、札所巡礼が成立していたことを証すると共に、その移りかわりをも示す資料である。

〜日の沢〜

右此意趣者性空上人冥力被請
七日御説法あって。一百三十六地獄罪
人御たすけあって炎魔王より布施に給
はって第一秩父巡礼二番坂東巡礼三番
西国巡礼あり熊野権現殊者
伊勢諸神悉被召性空阿弥陀の化身也
是を拝輩者現世安穏後生善処無疑也

文治三年三月十八日　行基菩薩之作

大般若法要のご案内

十一月八日（金）午前

十時から余興（バイオリンの演奏を中心に）

十時半から大般若法要

十一時半終了予定

大般若は御祈祷です。檀信徒の皆様の家内安全、交通安全、諸願成就を御祈念致します。是非、皆様方の申し込みお待ちしております。

同封の**黄色の用紙**にてお申し込み下さい。**護持会費と一緒に振込みも可**（**大般若に○をしてください**）。**志納金二千円**（木札とお守り授与）です。

お寺から

◎「住職、副住職が昇補しました」

住職が中僧正に補命され、副住職も大僧都に補命されましたので、檀信徒の皆様にご報告申し上げます。

住職“中僧正”を補命

副住職“大僧都”を補命

◎「西駐車場の件」

光明寺西駐車場（砂利）を光明寺で購入いたしました。護持会特別会計からも補助していただきました。厚く御礼申し上げます。

◎「令和五年の弘法大師誕生千二百五十年に向けて」

総本山智積院では、いろいろな事業や催しが開催されます。また智積院は京都駅近くの大変便利な場所にあり、国宝や国宝級の重要な宝物も多数あります。智積院会館（宿泊施設）の建築、宝物館建築など大事業を行います。末寺であります光明寺のお檀家様にも、ご寄付の依頼がありますが、ご負担をかけないよう、護持会特別会計より支出する予定です。

◎「境内墓地の皆さまへ」

墓地管理費をいただいておりますが、こちらは、共有地部分の管理のためです。各墓地内の除草は各個人でお願いいたします。

編集後記

◎東京オリンピックがいよいよ来年になりました。私が小六の時、東京オリンピックが開催され、クラスメイトの一人が、家族とオリンピックを見に行ったと担任から聞き、羨ましく思ったものです。あれから五十五年、月日が経つのは早いものです。テレビも大画面で高精細の4K8Kができ、自宅で十分見られますが、生の迫力も味わいたいなとも思います。申し込んだチケット当たればいいな。

◎「御詠歌」毎月第二第四金曜日午後一時から午後三時まで練習してます。初心者歓迎、ご連絡をお待ちしています。

◎「ラジオ体操」毎朝六時三十分から山門前でおこなっています（ラジオ体操は九十年以上の歴史があり今も現役です）ご近所の皆さんご一緒にいかがですか。

住職記

毎年４月８日お釈迦様の誕生日に当寺院で花まつりを行っています。
是非御参加下さいね。

施餓鬼会のご案内

八月五日（月）午前

十時　密厳流遍照講師範による御詠歌

十時二十分　総本山特派布教師による法話

十一時　施餓鬼法要

施餓鬼会とは、ご先祖さまはじめ、生きとし生けるすべてのものを供養する法要でございます。わたしたちは、先祖のお陰をもって今の命があります、たくさんの命を食して今を生きています、またたくさんの犠牲の上で今の社会が成り立っています。そういった命を一同に供養いたします。

光明寺檀信徒のみなさまも万障繰り合わせの上法要に参加していただき、ご一緒に供養していただきたいと思います。

※年に一度の大供養になります、檀信徒のみなさまはじめ、今年初盆を迎える方は是非お越しください。

※山門にて粗品を配布しております。（一家につき一つ）

※施餓鬼塔婆は原則全檀家様（施主名）を対象にお書きいたします。

※施餓鬼塔婆は法要後配布します。お世話人さまがいる方は本堂正面向かって右側、郵送にて振込みをされた方は左側にございます。

※施餓鬼塔婆はお盆中、仏壇脇に安置し送り盆にお墓に供えます。

※駐車場は、お寺西側をご利用ください。お寺北側（宝珠堂脇）は僧侶専用となります。また、お寺正面の駐車場は二輪車、自転車、高齢運転者マーク、身体障害者マークの方優先になります。

初盆のご案内

八月十三日（火）～八月十五日（木）午前九時から新盆のお檀家様を中心に、お伺いいたします。

十三日午前　野沢、宝木本町（足高藤）、上金井、下金井、徳次郎（富屋地区）、新里、大谷立岩地区

十三日午後　宝木本町（悟理道、仁良塚）、上戸祭、豊郷地区

十四日午前　細谷、若草

十四日午後　宝木、中戸祭、戸祭、陽西、駒生、鶴田、砥上

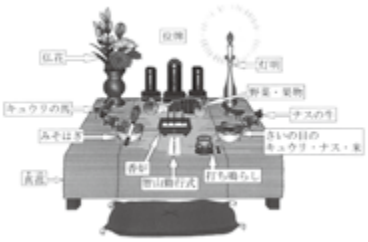
十五日　市内中心部南部東部、宇都宮市外郭部（河内、岡本等）、市外

※お願い【十三日午前にお伺いする地区の皆様は前日夕方、または当日早朝に、仏様のお迎えをお願いします】

※時間の指定はご遠慮願っております。予定ですので変更になる場合もあります。

※「しばらく待っているがまだ来ない」など心配の節は遠慮なくお電話をください。

☎〇二八ー六六五ー〇五四五 光明寺



盆棚の飾り方一例